

その他の食料品製造業における人力運搬機を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	18~19	カップ包装リフト付近で、ポーターリフト（台車）を持ってリフトに移動中、他の作業者がリフトを上げていることに気が付き、移動中のポーターリフト（台車）を手から放してしまった為、ポーターリフト（台車）が足に接触して倒れた時に、右手を床に突いてケガをする。	62	300~499
1	11~12	冷却室にて、ドーリー（1台約60kg）2台を運搬中、右わき腹に痛みがはしたが、そのまま業務を続けた。2週間位たった時に息苦しくなり、その後、右脇第3肋骨疲労骨折と診断される。	52	300~499
2	16~17	当社、仕入荷受室で、カーゴ台車をサニテーション作業をしている時、しゃがんだ姿勢で収納状態のカゴ台車の側面を開いた後、安全バーが解除されていた為、底板が落下してしまった。頭部額に接触したと同時に、受傷者も横転した。	59	500~999
2	8~9	朝礼終了後に現場へ移動中にヘッサー室裏の通路を歩行していた。工事によって一時的に置いていた空台車の色と通路の色が緑と同化している上に荷受け場の工事資材を見ながら歩いていたため、気付かず躓いて転倒し、手をついた拍子に負傷した。	32	—
2	7~8	給食弁当工場内において台車に弁当箱が20個入る「番重箱」約4kg~5kgを10段重ねて台車に載せて配送トラックまで運ぶ途中、水路に網式の鉄板が敷いてありその段差で「番重箱」が傾いたため、両手と身体で倒れないように無理な姿勢で支えた時、背中と腰部に強い痛みがはした。そのまま配達を優先したが痛みが取れず翌日受診して圧迫骨折が判明したものである。	65	100~299
		洗浄室にてカート洗浄中、洗浄水ストッパーを閉止しようと横に移動したとき、		100

3	15~16	カート洗浄台スロープに左足を乗せたところ滑り、洗浄中のカートに左肩を強打し受傷した。	64	~ 299
3	12~13	第七工場1階計量室からゴミを両手で抱えてオープンスペース側に移動していた。計量室出入口付近にあった台車に視界不良のためつまずき、台車の持ち手部分に右胸部を打ちつけ、肋骨に亀裂骨折を負った。	42	~ 299
3	11~12	工場内組立ライン積込場所にて、台車に載った荷物（食材）をロールボックス（カゴ台車）に積み込んでいた際、置いたままの空の台車に気づかず、次の荷物を両手に持ち作業を続けていたところ、空台車に足が引っ掛かり滑って転倒し、膝を床に強打し、左膝を骨折した。	52	~ 500 999
3	12~13	夕食時に使用するトロミ剤を取りに行こうと厨房内を移動していた際、台車と配膳車の間を通り抜けようとしたところ、誤って台車に足を引っ掛けてしまい転倒し、右側に倒れたため右半身を床に強打した。	67	1~ 9
3	9~10	厨房冷蔵庫内で原料引き取り作業中、パレットで別の荷物が運び込まれて来たので待機していたところ、パレットが近くにあったカゴ車に引っ掛かり、原料引き取り台車を押しこみ、パレットと原料引き取り台車の間に右足ふくらはぎ部分を挟まれた。	55	~ 300 499
3	13~14	第一工場と第二工場間の敷地内で、一人で荷下ろしをしていたとき、製品を積んだカゴ車（約300kg）をトラックの荷台から降ろす際に、トラックの昇降部に付属しているストッパーをかけ忘れ、カゴ車が倒れてきたものを支えようとしたが、支えきれず転倒した。	32	~ 100 299
3	8~9	レトルト第1工場前処理室で、6号釜での液炊きが終了し、具材混ぜ作業途中で具材を入れたタル（約40kg程度）を30cm離れた後方のパレットの上に移動させる際、後方に置いてあるパレットに踵が引っ掛かり、背中から後方に倒れ込み、地面に腰を打ちつける。	50	~ 100 299
4	16~17	工場内（箱詰ライン作業所）にて掃除終了後、明日の作業の準備中に、箱詰ラインのローラー（高さ20cm巾30cm）をうしろ向きでまたいだところ、ローラーの近くにあった台車（高さ20cm）に足が乗ってしまい、台車が動いてバランスをくずし転倒し、床についた左手首を骨折した。	61	~ 10 29

4	23～ 24	資材荷受場でパンの納品業者のトラックから、台車に積まれたパンの荷受けをしている際に、納品業者が渡そうと押し出した台車の番重が背中に強く当たった。納品業者が相手の状態をよく見ずに台車を強く押し出したのが原因である。	47	500 ～ 999
4	12～ 13	物流ラインでカウント作業中、他の従業員が運んでいたカゴ車が腰と右足にぶつかり打撲した。	73	100 ～ 299
4	8～9	作業場にて成型肉の番重取りを行っている際、番重を台車に置く時に台車に足を引っ掛け、転んで打撲した。	54	300 ～ 499
4	14～ 15	バラきのご作り中にダンボールカッターを取ろうと移動した際、横から来た台車と衝突して右ひざを負傷した。	63	100 ～ 299
5	18～ 19	工場内の作業場で、業務用フードカッターを使用した野菜の加工作業が終わって後片付けをしている時に、キャスターの付いた作業台に載せてあったフードカッター（15kg）を所定の場所に片付けようと移動させたところ、キャスターの一つが壊れ作業台が傾きフードカッターが足の上に落下し、左足親指の付け根を骨折した。	60	30 ～ 49
5	0～1	被災者は通路を背にして器具の洗浄作業をしていたとき、通路を別の作業者がタンクを運搬して通過している際に被災者の腰部にタンクがぶつかった。	52	100 ～ 299
5	14～ 15	給食センターの洗浄室で、洗浄したトレイをラックに乗せ、ラックを引っ張って食器消毒保管庫に収納しようとした時、ラックのバランスが崩れ、倒れたラックの下敷きになり、右肩・右上腕・右大腿・左臀部を打撲した。	39	30 ～ 49
5	8～9	被災者は工場2階もやし栽培室内にて車輪付の型枠に入ったもやし栽培用コンテナ（1.3×1.0×1.5、500kg）を運び出そうとして、型枠を掴んで手前に引いたところコンテナが手前に倒れて下敷きになり、両足を挟まれて負傷する。通常はハンドリフトを使用して運び出すところ、散水中であったため散水を止めずに自力で引き出そうとした。	47	30 ～ 49

5	11～ 12	小学校配膳室において、手押しで給食を運ぶコンテナを移動中に不注意により、その車輪に足を挟まれ負傷した。	33	50 ～ 99
5	14～ 15	洗浄室にて空の食缶を載せた台車を運搬する作業中、台車の持ち手部分に掛けてあった食缶が外れ、右足母指に落下した。	68	50 ～ 99
5	15～ 16	工場内で台車を運搬中、路面の段差に車輪をとられた状態で引っ張った。重い台車なので両手で引く指導をしていたが、片手で台車上部の角を引っ張るような感じで引いたため横転した。その際、倒れてきた台車が右太ももに当たり打撲した。	33	50 ～ 99
5	10～ 11	配膳準備のため厨房外の廊下で4階食堂からおりてきた空の配膳車を一人が押し、自分が引いて運んでいた際に勢い余って左足のサンダルの上にコマが乗って負傷した。	50	10 ～ 29
6	13～ 14	工場内で、豆腐を入れるための空ケースが積んであるカーゴ車と折り畳んであるカーゴ車を、外から場内へ移動させる作業をしている時、右手で引いていた折り畳んであるカーゴ車のタイヤの動きが悪く転倒した。その際、右手でカーゴ車の転倒を抑止しようとして、右手首を捻った。	56	30 ～ 49
6	12～ 13	食材運搬用台車に食材を入れて移動していたところ、1Fエレベーター入り口で台車の操作を誤り、衝突防止用鉄柱と台車に左手を挟み負傷した。	63	300 ～ 499
6	12～ 13	コンテナを積んだ台車を作業所に運ぶ際、床の排水用の窪みにタイヤがはまって倒れて来た。その際、後ろにあったコンテナの台車にぶつかり、体を打ちつけた。	55	50 ～ 99
6	10～ 11	工場で作業中、台車が足首にぶつかった。初めは症状も酷くはなかったが、症状が悪化した。	34	10 ～ 29
7	13～14	他の社員がたたんであった手前のカゴ車を引き出した時、豆腐を製造中の被災者の背中に後方のカゴ車が倒れた。	45	30 ～

				49
7	4~5	盛付室において台車積みにした食材を運んでいた別の従業員と出会い頭にぶつかり、膝を打撲した。台車には納豆がライスバットいっぱいに入っておりぶつけた従業員も走っていたので、より大きな災害となった。現場には片付けられていないバットがあり、それが死角となっていた。	52	300 ~ 499
7	0~1	センターで仕分け作業時に商品を入れる番重を乗せる台車を片付けるために台車を収納スタンドに入れようとした。その際台車とスタンド補強部分に、右手中指先端を挟まれた。仕事終了後に病院で診察を受けた所打撲と診断された。	24	300 ~ 499
7	13~14	庫前の廊下で材料を運搬するため台車を手で押して移動している時右足先が床に引っ掛かり、前方に転倒して右足親指を骨折した。	58	100 ~ 299
7	15~16	魚肉下処理室で漬け込み作業時に移動しようとした際に、足元の台車に気付かず台車に乗り、足をとられて転倒し、左手をついて負傷した。	61	500 ~ 999
7	9~10	業務用冷蔵庫の中で、製品を積載した台車を引いて移動させているときに、誤って台車を自分の左足後部にぶつけてしまい、左足が床面と台車の間に挟まれてしまい負傷した。	19	100 ~ 299
7	17~18	被災者は、ハンドリフトを使用して製品の運搬作業を行っていたが、中断して他の作業を行っているときに、ハンドリフトから製品を降ろし忘れてしまった。降ろし忘れに気付いた他の者が、検品作業を行おうとリフトを降下させたところ、被災者の足の上に置いてしまい、被災者は左足親指を負傷した。	18	50 ~ 99
7	17~18	会社内配送センター1階豆腐包装室および冷蔵庫内にて、商品の入ったコンテナが乗っていた台車のコンテナを空台車に移す作業の途中に、台車が動いて足に引っ掛かり、前に転倒した際に手首を捻った。	51	100 ~ 299
7	17~18	作業が終了し、帰宅するため工場玄関を出たとき、作業者が手で押して運搬していた荷物を積んだカゴ車と接触し、地面に腰から落ち、頭を打った。	62	100 ~ 299

7	21～ 22	デリカセンター盛付成形室で、空のシャリボックスを積んだ六輪カート2台を引いて移動していたとき、商品の入ったコンテナ（高さ50cm程）に左足がぶつかり、体を捻って倒れ、右の臀部を床に打ちつけた。	52	100～ 299
7	9～ 10	加工場において、パレットに商品をおろす作業をしていたとき、パレットの横に台車（キャスター付き）があり、台車があることを知らず台車に乗ってしまい、バランスを崩して転倒した。その後、左手が腫れていたことから病院へ行き、左手にひびが入っていると診断された。	63	10～ 29
9	10～ 11	廊下にて、食器の入ったコンテナを運搬中、バランスを崩しコンテナと壁の間に小指をはさみ受傷した。	43	500～ 999
9	14～ 15	T-3ライン盛付室において、具材具出し業務に従事していた。具材を加工している調理室から盛り付け室に具材を運搬している際に、具材のラックがバランスを崩し、このラックが転倒した際に床とラックの間に左足つま先部分が挟まり、左足を受傷した。	46	100～ 299
9	0～1	商品を検査する際に、台車を足もとに準備し、別の仕事を終え、戻ろうとした際に準備していた台車を踏んでしまい転倒、右足膝を打ち皿を骨折した。	57	300～ 499
9	12～ 13	厚揚げを包装中、左足が台車に接触して転倒し、頭部を机にぶつけ、また肋骨に商品を入れたカゴがぶつかった。	68	30～ 49
9	12～ 13	派遣社員がホルモン包装室にて、洗浄したホルモンを入れる為の空箱を台車に移動させる際に、誤って足下にある台車に左足を乗せてしまい転倒、肋骨に骨折を負った。	58	300～ 499
9	8～9	充填に使用する一斗缶（油）を台車に載せ、充填タンクまで運搬しようとして台車を方向転換した際、一斗缶が台車から滑り落ちそうになった為、とっさに右手で支えようと缶の開け口（フタ）のギザギザになっている部分を持ってしまい、右手（親指を除く4本指）を裂傷した。	46	30～ 49

9	9～ 10	事業所1階の現場事務所前において、被災者が空のバットをキャスターに乗せて運搬中、脇にあったハンドリフトにつまずいて転倒し、床で右膝を打った。	65	50 ～ 99
10	10～ 11	スイング式の扉の反対側から勢いよく台車を押してくる人が見えたため、食品トレーを持ったままと扉の手前で待っていたところ、台車ごと扉に突っ込んできた。そのため、扉と食品トレーが接触し、衝撃で左手首から肩にかけて負荷がかかり痛めた。	29	100 ～ 299
10	13～ 14	機内食を積んだカートを押して運搬していた際に転倒した。	26	100 ～ 299
10	22～ 23	ステンレス製の台車を洗浄室に運搬中に補強するため設置してある鉄板にコマが引っ掛かり、2段積みの上の台車が落下して左足に当たった。	41	300 ～ 499
10	11～ 12	野菜具材保管庫から、包装室に向かって具材の入ったカゴを台車に乗せて押しながら運んでいる時に、部屋の境目にあったグレーチングの溝に、台車のはまってバランスを崩し、カゴが横に倒れた。一度はカゴを支えたが、支えきれなくなり、床とカゴの間に左手を挟み、左手小指の付け根を骨折した。	62	500 ～ 999
10	11～ 12	包装作業場にてオペレーターがきのこに乗せた台車を押して箱入れ作業者の後ろを通った際、箱入れ作業者が気付かずに後ろに下がり台車に右足首の後ろ側をぶつけ負傷した。	43	100 ～ 299
11	16～ 17	当社機材置場でダンプから降りた時に右手に作業服、左手に伝票を持っていて両手がふさがった状態でバランスを崩して尻もちをつき腰椎を骨折した。	54	30 ～ 49
11	14～ 15	鑄造工場において、次の作業場へ移動する為階段を下りていたところ、最後の一段を踏み外し左足から斜めに着地したため、左足小指部分を痛めた。	81	10 ～ 29
	11～	中学校内の受入室内部にて、カーゴの片付け作業中に躓いて前方に倒れ、持ってい		1～

11	12	たカーゴごとと床に手をついた。その際カーゴの柵部分が左手に当たり、負傷した。	43	9
11	9～ 10	食品工場内の食材倉庫内で台車に躓いて転倒した。入庫の際、照明を点灯せずに入室し、台車に気付かず柵に手をついた体勢で転倒し負傷した。	70	30 ～ 49
11	18～ 19	病院厨房で配膳車を引き出す時、配膳室のエレベーター扉付近で引き出す時に、別の用件を依頼され、配膳車の引き出し作業を中止してエレベーターに入ってしまった。別の者が被災者がエレベーターに入ったことに気付かず配膳車を引き出した為、配膳車と壁の間で肩や背中部分が挟まれた。	43	10 ～ 29
11	16～ 17	冷蔵庫内で台車を移動中、不注意で壁と台車で手を挟んでしまった。	44	10 ～ 29
11	8～9	洗浄室で洗浄準備をしている時に、足元のかごを置く台に躓き、目の前の移動式ラックに掴まろうとしたが、ストッパーを掛けていないため動き、そのまま正座の状態に強く両膝をついた。元々足が悪いため、踏ん張れない状態もあったと考えられる。	77	30 ～ 49
11	22～ 23	工場内で、もやしを栽培した育成BOXをコーターで出庫作業中に、後方確認を怠って進んだため後方に停止していたコーターとで左足首を挟み込んだ。	19	100 ～ 299
11	8～9	カゴ車を倉庫より引き出し踊り場から（高さ65cm）地上に降ろす際に、本来であればフォークリフトにて行うものを急いでいた為に1人、人力で抱えて降ろそうとしてバランスを崩し、カゴ車ごと前のめりに倒れてしまい、カゴ車と地面の間に腕を挟まれたもので上腕骨折と指・肘の擦過傷を負った。再発防止対策として、重量物の積み降ろしには①フォークリフトを使用して降ろす②踊り場周囲に落下防止のガードレールをつける③フォークリフトが無い場合は、2人で作業し降ろすことを再度教育徹底した。	22	300 ～ 499
		開口部より製品を引き渡し後、作業場所に戻る為振り返ったとき足元が滑りキャリアにつまずいた。その際、周りに身体を支える物が無くそのまま前のめり状態		

12	8~9	で転倒し、目の前にあったコンテナに左目の下と目と鼻の間にコンテナの角部分を強打し、目の下に裂傷を負った。当日は、出血が収まってから病院で診察を受け、6針縫い、視力には支障はないと診断を受け、そのまま帰宅した。後日、抜糸の際に病院にてCT検査を行った結果、眼底部の骨折が判明し、手術となった。	54	100 ~ 299
12	8~9	工場2F加熱室（加熱調理作業室）から台車にて番重（およそ400×700mm×1,500H、プラスチック箱）容器を運搬中、冷蔵庫内を通行していた所、運搬していた台車と保管台車が接触した。その際、身体が前のめりになり、運んでいた番重が倒れ、左目に直撃し、左まゆげ下、鼻の頭に切創を負った。	44	500 ~ 999
12	17~18	調味料計量室内にて、両手で三温糖を持ち上げ後ろの容器に移動しようと振り向いた時に左足が台車に躓きバランスを崩し転倒し、作業台に頭・肩・膝を打った。	63	300 ~ 499
12	9~10	2階の番重置き場から洗浄済みの番重を運ぼうとした際に、台車のタイヤが排水溝のグレーチングに引っかかり、番重が崩れそうになったため支えようとしたところ、勢い余って左肩から転倒してしまった。	69	300 ~ 499
12	16~17	不良在庫を2階作業場から1階ゴミ庫へ運ぼうと、ステンレス台車に卵箱2つと段ボール箱2~3個をのせ、エレベーターに入る際、台車のタイヤがエレベーターの隙間にはまり、その反動で転倒し、右ひざをコンクリート床に強打した。	66	500 ~ 999
12	4~5	盛付室において、包装資材が入ったケースを両手で持ち移動していた際、置いてあった台車に躓き転倒し負傷した。	57	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html